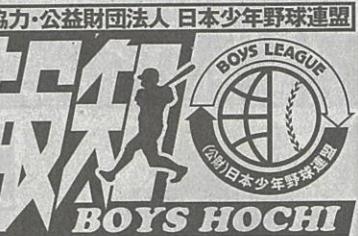




関西プロックティーボール大会
小学3年生以下を対象とした「関西プロックティーボール大会」が19日、みなと堺グリーンひろば多目的グラウンドで行われた。ボイズリーグ所屬チームや軟式チームから200人以上が参加。選手らはグラウンドを狭しと駆け回り、大変な盛り上がりを見せた。同日開催された「全泉州納会運動会」とともに、普段とは違った小学生によるハッスルプレーを写真で振り返ります。



みんなで楽しく

原田峻太朗くん(7)
「やつたことはなかつた
けど、またやつてみたい」

植木刹那さん(9)
「大会をやってくれて
うれしい。めちゃくちや、またやりたい」

上西侑來さん(9)
「打ちやす
かつた。普通よりヒットを打てる確率が高
いので楽しい」

◆ティーボール 投手のいない野球。通常

の野球と大きく異なるところは、本塁アレー
トの後方に置いたバッティングティーにボ
ルをのせ、その止まつたボールを打つて試合
が始まる。野球に比べて打つ体感が簡単に味
わえ、幼児でも楽しみやすい。一般的なル
ールは、10~15人でチームを形成。守備者は10
人。先攻、後攻がそれぞれ全打者攻撃し、10
人が終わつた時点で攻守交代。2イニングの
合計点数で勝敗を決める。

服部翔大くん(5)
「打つのが面
白かった。ヒットも打てたし、こ
れからも頑張りたい」



関西初の試み

寒さを吹っ飛ばす選手
の大声が、グラウンド
中に響き渡つた。関西ブ
ロックで初の試
みとなるティーボ
ール大会。野球人口

拡大を目指し企画された
もので、今回は本格的に
実施される来年大会のア
レ大会として行われた。
普段の野球とは違うル

ー。大富肇・関西プロッ
ク長は「低学年の野球を
盛り上げていくため、い
ろんな催しを考え、次か
らもやっていきたい」と
話した。

た。今日はヒットだつたので、
次はホームランを打ちたい」
中井洸雅くん(7)、「樂しかつ
た。保護者も出場可能と
いうことで、天理ボイ
ズチームは母親も出場。
ハッスルプレーで会場を
沸かせていた。大会を終
え、大富肇・関西プロッ
ク長は「低学年の野球を
盛り上げていくため、い
ろんな催しを考え、次か
らもやっていきたい」と
話した。